

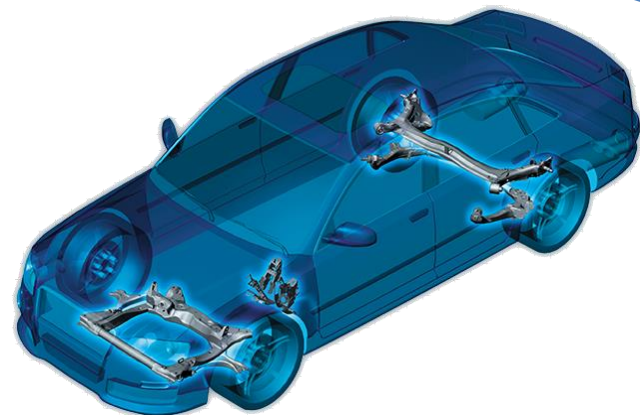
2024年3月期第2四半期 決算説明資料

Fiscal Year Ending March, 2024
2Q Financial Results

2023年11月8日
株式会社エフテック
証券コード：7212



「エフテック」で検索
<https://www.ftech.co.jp>



1

決算概要

Financial Summary

2

業績予想

Earnings Forecast

3

経営戦略

Management Strategy

4

トピックス

Topics

1

決算概要

Financial Summary

2

業績予想

Earnings Forecast

3

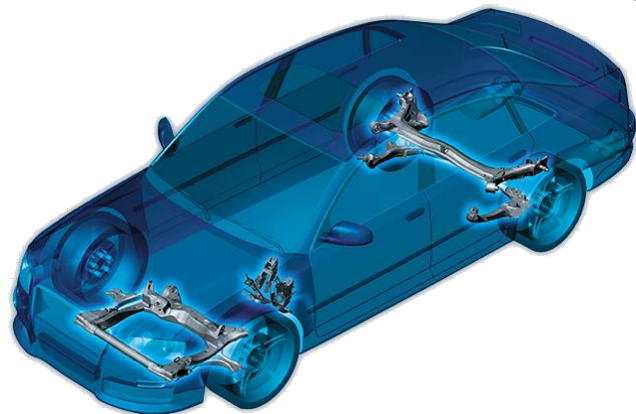
経営戦略

Management Strategy

4

トピックス

Topics



連結決算概要（前年同期比）

（単位：百万円）

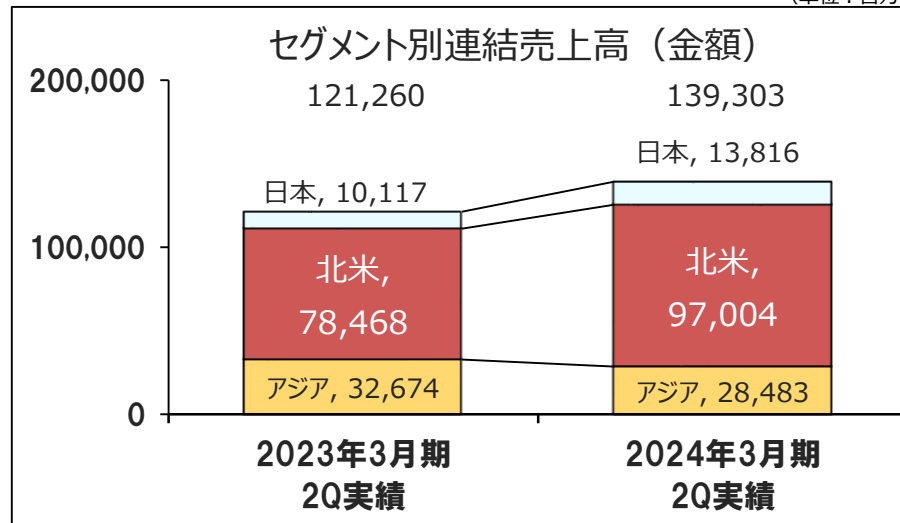
	2023年3月期 2Q実績		2024年3月期 2Q実績		増減	
売上高	121,260	100.0%	139,303	100.0%	18,043	14.9%
営業利益	▲1,090	▲0.9%	▲1,290	▲0.9%	▲200	—
経常利益	213	0.2%	▲915	▲0.7%	▲1,128	—
親会社株主に帰属する当期純利益	1,118	0.9%	▲516	▲0.4%	▲1,635	—
1株利益(円)	60.19	—	▲27.78	—	▲87.97	—

	2023年3月期 2Q	2024年3月期 2Q	増減
1 US\$	135.30円	142.61円	7.31円
1 CAN\$	104.06円	105.93円	1.87円
1 人民元	19.13円	19.55円	0.42円

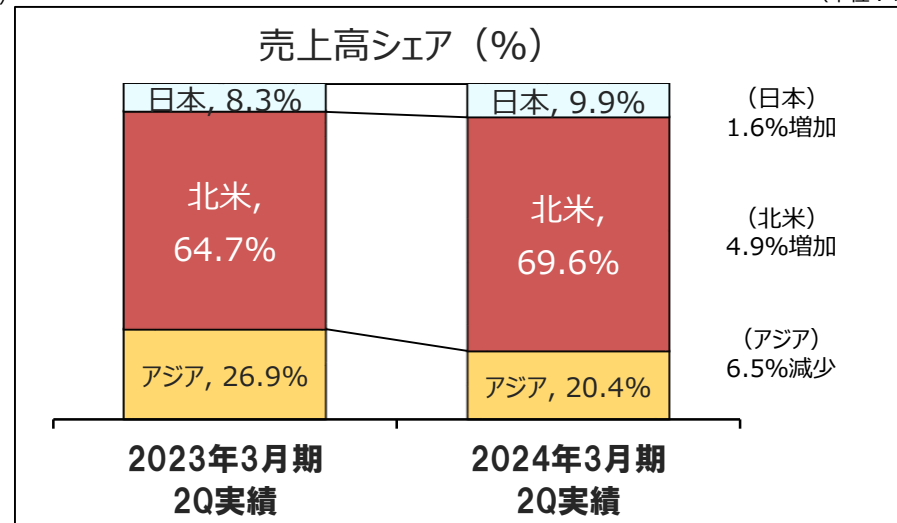
売上高は増加するも利益水準は前年同期比減少。為替水準は円安が進行。

連結売上高（前年同期比）

（単位：百万円）



（単位：％）



連結売上高増減

	2023年3月期 2Q	2024年3月期 2Q	増減	増減率	為替影響	実質増減	増減率
日本	10,117	13,816	3,698	36.6%	—	3,698	36.6%
北米	78,468	97,004	18,535	23.6%	4,282	14,254	18.2%
アジア	32,674	28,483	▲4,190	▲12.8%	907	▲5,098	▲15.6%
連結	121,260	139,303	18,043	14.9%	5,189	12,855	10.6%

日本及び北米で新規受注効果による増収、アジアは中国の急速なEVシフト化により減収。

セグメント別営業利益（前年同期比）

（単位：百万円）

	金額			
	2023年3月期 2Q実績	2024年3月期 2Q実績	増減	増減率(%)
日本	182	372	190	104.4%
北米	▲2,205	▲1,486	719	—
アジア	705	▲173	▲878	—
合計	▲1,318	▲1,287	30	—
調整	227	▲3	▲231	—
連結	▲1,090	▲1,290	▲200	—

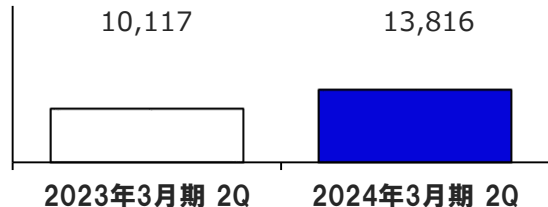
※2023年3月期実績において、インディア・スチール・サミット・プライベート・リミテッドの企業結合に係る暫定的な会計処理の確定を行っております。

営業損失が12.9億円と前年同期比2億円の減益。北米地域は前年同期比増益だが営業損失14.8億円
アジアは中国での減産により昨年同期比減益。

セグメント別連結業績（日本）

（単位：百万円）

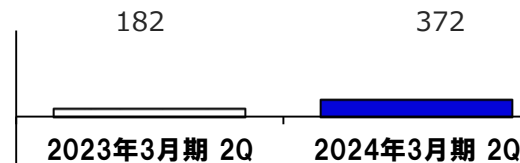
売上高



増減額	3,698
増減率	36.6%
為替影響	—
実質増減	3,698
増減率	36.6%

	増減理由	
1	新規受注等製品売上増加	2,845
2	商品売上減少（Gr向け金型設備売上）	▲2,932
3	技術収入売上減少（ロイヤリティー、開発費、他）	▲147
4	国内子会社売上増加	768
5	内部消去の減少	3,164
	合計	3,698

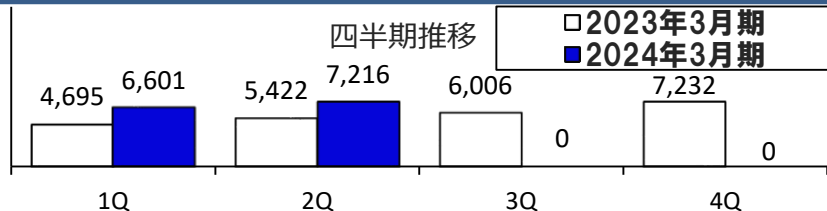
営業利益



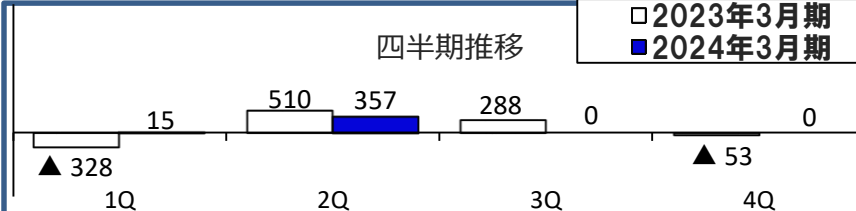
増減額	190
増減率	104.4%
為替影響	—
実質増減	190
増減率	104.4%

	増減理由	
1	製品売上増加による増益	676
2	商品売上減少による減益	▲627
3	技術収入売上減少による減益	▲96
4	国内子会社売上増加による増益	237
	合計	190

四半期推移



四半期推移

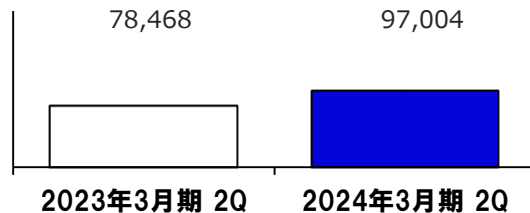


トヨタ向け新規受注や半導体不足解消による増産効果で増収増益。

セグメント別連結業績（北米）

（単位：百万円）

売上高

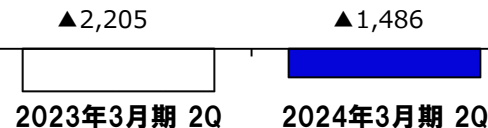


増減額	18,535
増減率	23.6%
為替影響	4,282
実質増減	14,254
実質増減率	18.2%

増減理由

	増減理由	
1	製品売上増加(HM +12,853、他 +3,191)	16,044
2	商品売上減少	▲1,791
3	為替換算影響	4,282
	合計	18,535

営業利益

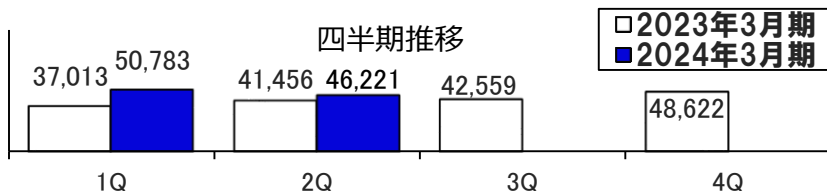


増減額	719
増減率	—
為替影響	▲48
実質増減	767
実質増減率	—

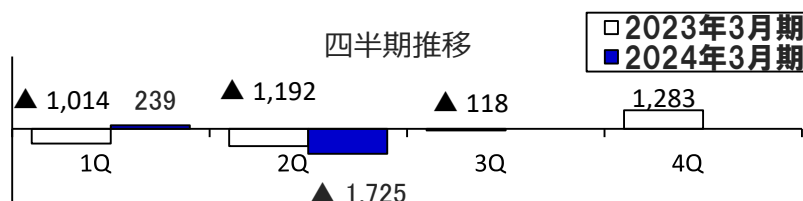
増減理由

	増減理由	
1	製品売上増加による増益	2,152
2	労働需給逼迫による労務コスト増	▲1,054
3	商品売上減少による減益	▲331
4	為替換算影響	▲48
	合計	719

四半期推移



四半期推移

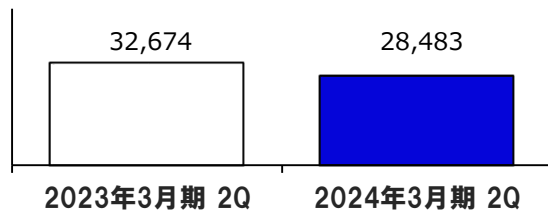


新規受注と半導体不足解消による量産効果で増収、労働需給逼迫による労務コスト上昇で利益悪化。

セグメント別連結業績（アジア）

（単位：百万円）

売上高

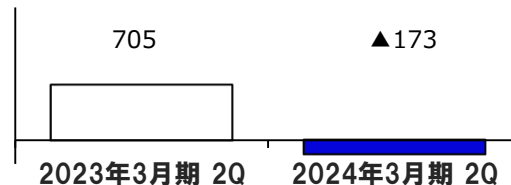


増減額	▲4,190
増減率	▲12.8%
為替影響	907
実質増減	▲5,098
増減率	▲15.6%

増減理由

1	（中国）製品売上減少	▲6,105
2	（ア大）製品売上増加	1,007
3	為替換算影響	907
	合計	▲4,190

営業利益

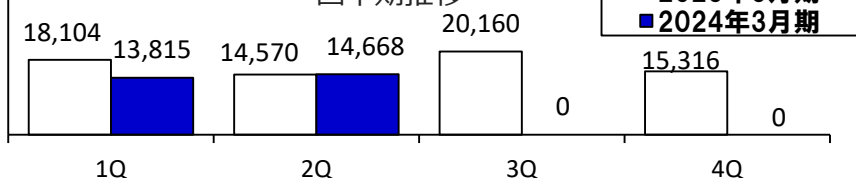


増減額	▲878
増減率	▲124.6%
為替影響	7
実質増減	▲885
増減率	▲125.6%

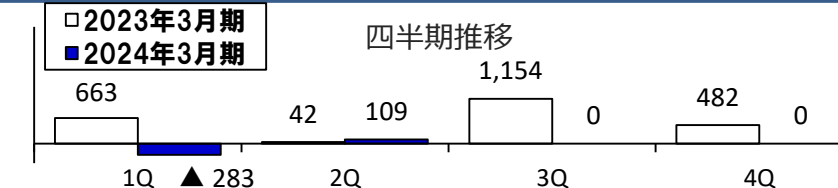
増減理由

1	（中国）製品売上減少による減益	▲1,174
2	（ア大）製品売上増加による増益	289
3	為替換算影響	7
	合計	▲878

四半期推移

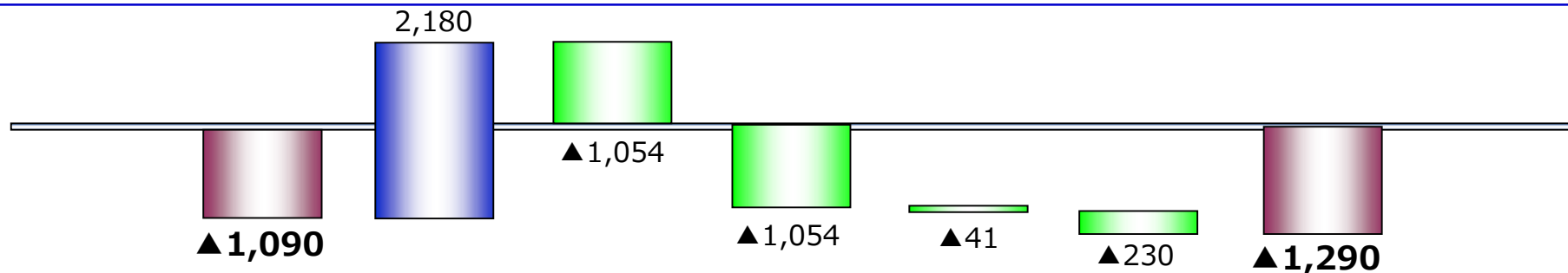


四半期推移

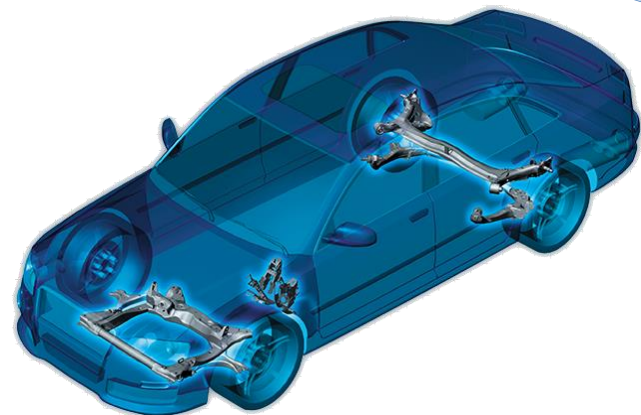


中国地域において急速なEVシフトが進み減収減益。

セグメント別営業利益（2024年3月期 2Q実績）



	2023年 3月期	製品売上 影響	商品 技術収入売上 影響	労務コスト	為替影響	連結調整	2024年 3月期	増減
日本	182	913	▲723				372	190
北米	▲2,205	2,152	▲331	▲1,054	▲48		▲1,486	719
アジア	705	▲885			7		▲173	▲878
調整	227					▲230	▲3	▲231
連結	▲1,090	2,180	▲1,054	▲1,054	▲41	▲230	▲1,290	▲200



1

決算概要

Financial Summary

2

業績予想

Earnings Forecast

3

経営戦略

Management Strategy

4

トピックス

Topics

連結業績予想（期初予想比）

（単位：百万円）

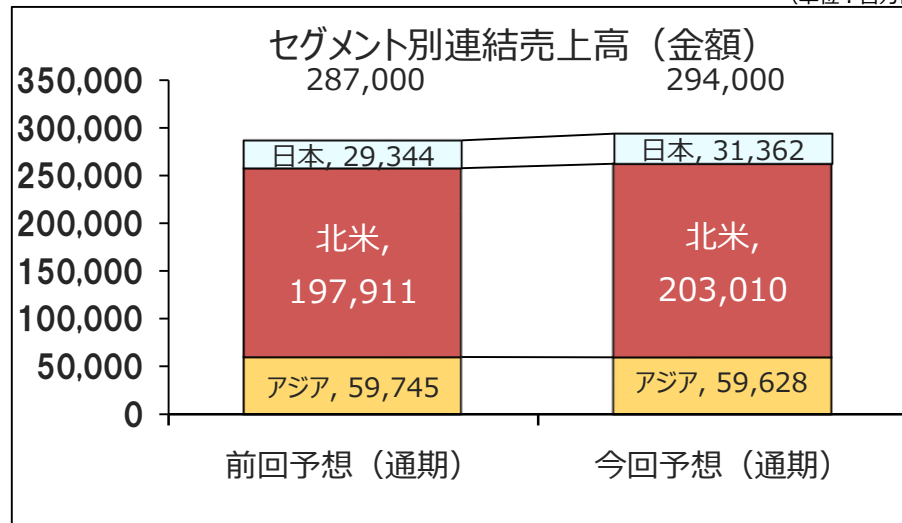
	期初予想（通期）		今回予想（通期）		増減	
売上高	287,000	100.0%	294,000	100.0%	7,000	2.4%
営業利益	5,600	2.0%	3,700	1.3%	▲1,900	▲33.9%
経常利益	3,500	1.2%	1,800	0.6%	▲1,700	▲48.6%
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,500	0.5%	400	0.1%	▲1,100	▲73.3%
1株利益(円)	80.69	—	21.53	—	▲59.16	—

	期初予想（通期）	今回予想（通期）	増減
1 US\$	128.00円	140.81円	12.81円
1 CAN\$	95.00円	104.96円	9.96円
1 人民元	18.70円	19.55円	0.85円

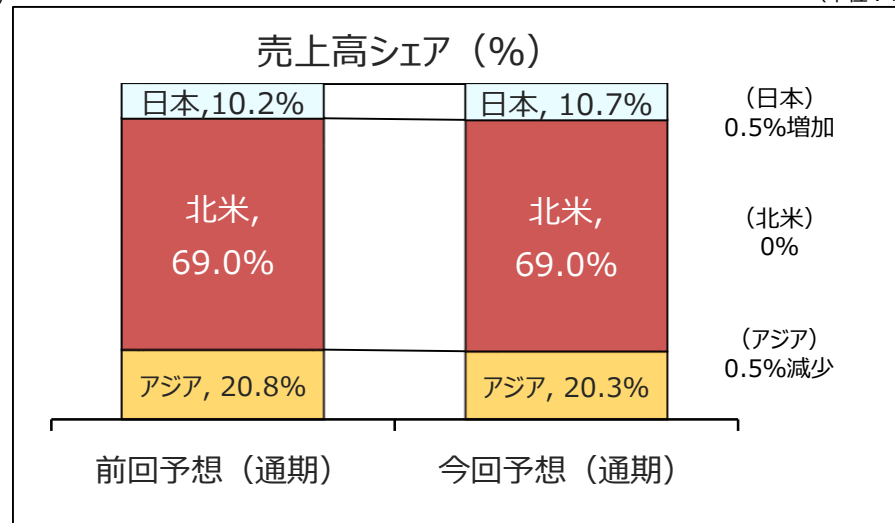
売上高は増加するも利益水準は期初予想比減少。為替水準は円安が進行。

連結売上高（期初予想比）

（単位：百万円）



（単位：％）



連結売上高増減

	期初予想	今回予想	増減	増減率	為替影響	実質増減	増減率
日本	29,344	31,362	2,018	6.9%	—	2,018	6.9%
北米	197,911	203,010	5,099	2.6%	18,441	▲13,342	▲6.6%
アジア	59,745	59,628	▲117	▲0.2%	3,025	▲3,142	▲5.3%
連結	287,000	294,000	7,000	2.4%	21,466	▲14,466	▲4.9%

為替の影響による増収も、実質増減では減収。

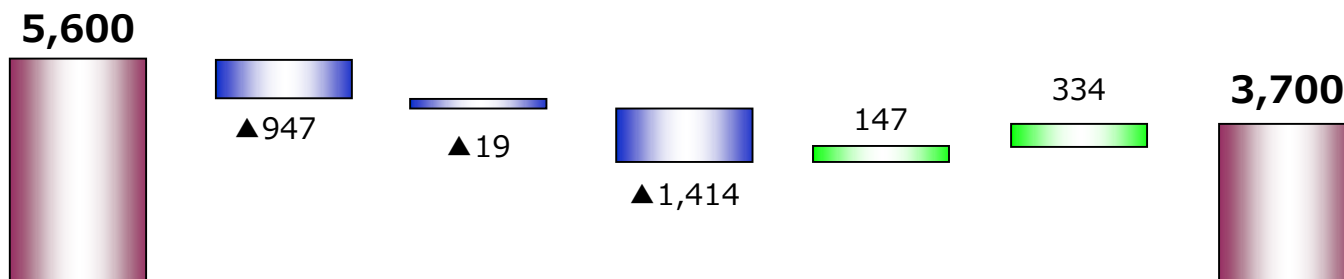
セグメント別営業利益（期初予想比）

（単位：百万円）

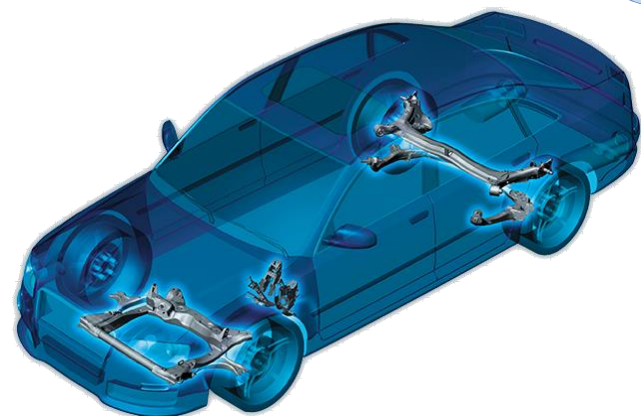
	金額			
	2024年 3月期 通期 期初予想	2024年 3月期 通期 今回予想	増減	増減率 (%)
日本	627	1,039	411	65.6%
北米	3,875	1,167	▲2,708	▲69.9%
アジア	931	994	63	6.8%
合計	5,435	3,202	▲2,233	▲41.1%
調整	164	498	333	202.1%
連結	5,600	3,700	▲1,900	▲33.9%

営業利益が37億円と期初予想比19億円の減益。
北米は営業利益11.7億円と期初予想比27億円の減益。日本、アジアは増益。

セグメント別営業利益（期初予想比）



	期初予想	製品売上 影響	商品 技術収入 売上影響	労務コスト	為替影響	連結調整	今回予想	増減
日本	627	629	▲217				1,039	412
北米	3,875	▲1,512	134	▲1,414	84		1,167	▲2,708
アジア	931	▲64	64		63		994	63
調整	164					334	498	334
連結	5,600	▲947	▲19	▲1,414	147	334	3,700	▲1,900



1

決算概要

Financial Summary

2

業績予想

Earnings Forecast

3

経営戦略

Management Strategy

4

トピックス

Topics

成長

全社
方針

稼ぐ力を向上させ持続的に成長し社会に貢献する

Challenge for New

● 戦略的な成長ビジネス機会の追求

- 戦略的な営業活動による付加価値拡大
- EV商権の拡大
- 開発効率の最大化
- 新技術の確立

● サステナビリティ経営の構築

- ESG経営への取り組み強化
- カーボンニュートラルの実現へ向けた推進
- ステークホルダーからの評価向上

稼ぐ

Back to Basics

借入金の削減

● 稼ぐ力の強化

- 課題拠点へのエフテック一体サポート展開
- 競争優位性の強化による収益向上
- 従業員エンゲージメントの向上
- エフテックファミリーで活躍できる人財の育成

● 財務体質の健全化

- 14中計投資による成果の創出
- 投資の抑制
- 収支モニタリング体制の強化

第16次中期経営計画

(FY26-FY28)

到達目標：

営業利益率 5%

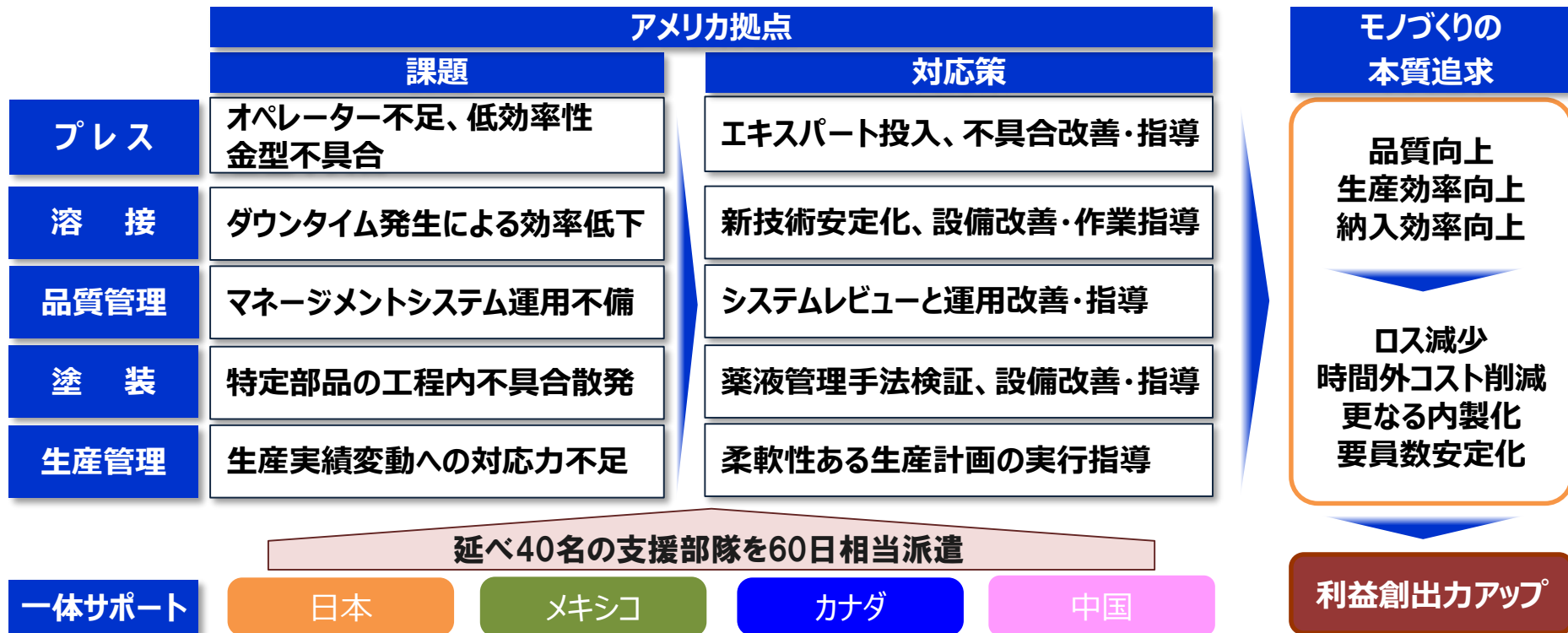
成長投資

モノづくりの
本質追求

稼ぐ力

◆アメリカ拠点への技術者支援展開

- ・長引く労働市場の需給逼迫：新型コロナを起因とした労働市場退出者は未だ戻りきらず、要員不足と労務コスト上昇傾向
- ・長引く課題に対しグループ一体で技術支援を展開→「モノづくりの本質追求」により利益を拡大



◆社長によるエンゲージメント向上策開始

1. F. Career Design Advance

社長と従業員が自由討議し成長を促す機会を創設。
社長が企業の存在意義、理念、長期ビジョン、現状の課題、従業員への期待を語り、自由に意見を言い合う。

2. 社長メッセージ動画の配信

社長が当社の状況や方針、最新情報を従業員全員に語り共有化



◆その他施策

1. 各部による個別エンゲージメント向上策展開

アンケート結果に基づき、各部が独自に向上策を策定、委員会で進捗管理実施

2. 執行役員による他部従業員との面談

従業員のやる気向上、視野拡大を狙いとし、執行役員が担当外の従業員と面談

3. 人事施策展開

- ・公募制度による自律的な配置換え展開
- ・定年従業員を再評価し活性化（会社要請型制度）
- ・女性の管理職挑戦機会の促進
- ・人事評価におけるプロセス評価、面談機会促進
- ・海外拠点との研修生交換開始

稼ぐ力の源泉は「人」、自ら考え行動する稼ぐ集団へ



F&P MFG DE MEXICO, S.A. DE C.V.

自動車メーカー3社から4車種(3車種 E V)の受注に伴い、14中計期間に約\$100Mの投資を実施

※投資の内容：建物拡張\$10M、プレス・塗装能力拡充\$21M、新機種の溶接ライン等\$67M)

投資の実施



状況

投資は順調に進み、量産開始
に備え設備は問題なく設置完了

量産開始された新機種も順調
に生産開始

業績（売上高）

2022年度
約270億円

2023年度予想
約400億円

得意先別シェア

- ・GM : 43.0%
- ・Te : 22.9%
- ・ホンダ : 17.6%
- ・Ste : 4.1%

状況

新機種生産開始に伴う売上
増により利益は順調に増加
当社の収益の柱に成長

※換算為替レート 2022年度：1ドル132円 2023年度以降：1ドル139.4円

「戦略的な営業活動による付加価値拡大」と「EV商権の拡大」により、**多機種の生産を開始！**
継続的な受注を目指す

日本



LEXUS LBX向け製品生産開始！
年間計画 1万台



日系コンパクトカー向け製品生産開始！
年間計画 12万台

北米



GM BEV向け製品生産開始！
Chevrolet Blazer EV
Chevrolet Equinox EV
年間計画 13万台

サステナビリティ基本方針

わたしたちは、社是、理念、行動指針のもと、持続可能なモビリティ社会の実現に向けた事業活動を通じ、地球的課題の解決に真摯に取り組み企業価値の向上を目指していきます。

カーボンニュートラル基本方針

私たちは、社会やお客さまとともに、モビリティ社会への貢献を通じて脱炭素社会の実現を目指します

2035年

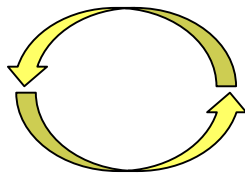
- 2035年までに自社の製造領域で使用するCO2排出量(Scope1/2)に対して、カーボンニュートラル実現を目指します。

2050年

- サプライチェーンを含めた事業全体のCO2排出量のネット・ゼロに挑戦します。

事業領域の脱炭素化

- ・省エネ・電化推進
- ・再エネ・低炭素電力の段階的導入
- ・大型・高効率設備の計画的導入



モビリティ社会への貢献

- ・顧客ニーズに合った製品づくり
- ・LCA評価に基づく、自動車のライフサイクル全体での環境負荷の低減

2035年「自社製造領域のカーボンニュートラル」目標達成に向け各種施策を具現化し、グローバルで取り組みを推進していく。

2050年カーボンニュートラル実現に向けたロードマップ

フェーズ

省エネ・高効率化/製品への取組み

他産業・SC連携強化

脱炭素チャレンジ

目標

2035年 Scope1/2 製造領域カーボンニュートラル達成

2050年 Scope3
カーボンニュートラル達成

設計
開発
EG
領域

これまで

- ・製品の燃費性能の向上
(軽量化)

モビリティ社会への貢献

環境に配慮された製品開発

- ・開発領域で低CO2仕様の検討
- ・製造領域に環境負荷の少ない工程開発
- ・高品質、高性能、低価格で
軽量かつ低CO2排出仕様の提案

顧客ニーズへの対応

素材・物流領域CN化

サプライチェーン(SC)領域への拡大

外注先(Tier2以下)のCO2排出量ミニマム化

- ・脱炭素化に向けた省エネ/技術支援
- ・再エネ/低CO2排出電力への導入要請

自社一貫加工体制
での開発-生産連携

ガス燃焼設備の電化/代替燃料への切替

Scope1(直接燃焼)のCO2排出量ミニマム化

- ・塗装工程におけるガス使用設備の電化
- ・合成燃料などの工程使用

再生可能エネルギー普及拡大

再エネの積極的活用

製造
領域

これまで

- ・省エネの取組
- ・ISO50001の活用
- ・低CO2電力の一部導入

事業領域の脱炭素化

製造工程のCO2排出量ミニマム化

- ・エネルギーの見える化(製品LCA)
- ・大型汎用設備及び高効率設備への
計画的切替
- ・再エネ/低CO2排出電力の計画的導入

2022

2035

2050

2035年までに自社製造領域のCN化を達成し、2050年までにSC含めた事業領域全体でCN化を目指す

プライム市場上場維持基準適合状況

基準項目	プライム市場 上場維持基準	2023/3末 達成状況	
株主数	800人	10,970人	適
流通株式数	2万単位	112,009単位	適
流通株式時価総額	100億円	65.7億円	否
売買代金売買高	0.2億円/日	0.4億円/日	適
流通株式比率	35%	60.8%	適

流通株式数の増加と
株価向上策展開

プライム市場上場維持基準適合状況

流通株式数

113,759単位 (+17,500) へ



当社は、「プライム市場上場維持基準が不適合となるリスクの排除」と
「中長期的な利益改善と財務体質の強化」に集中するため

2023年10月20日、スタンダード市場へ移行

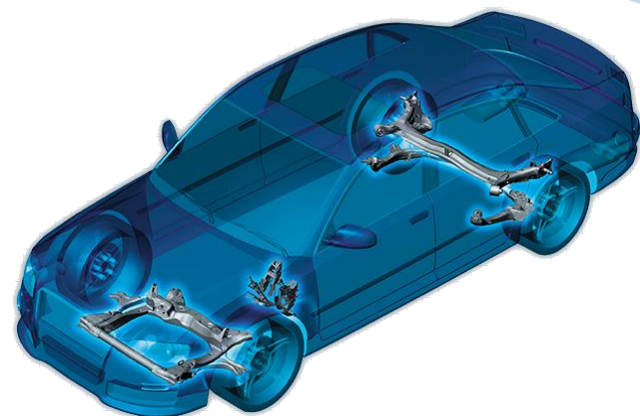
(参考) 主要株価関連指標推移

	単位	2016/3	2017/3	2018/3	2019/3	2020/3	2021/3	2022/3	2023/3
営業利益	百万円	6,821	8,035	6,856	6,580	4,088	3,072	1,142	2,038
親会社株主に帰属する当期純利益	百万円	2,704	4,035	4,709	2,844	328	▲ 1,165	209	1,734
株価 (期末終値)	円	1,066	1,415	1,323	892	426	751	545	659
EPS	円	175.72	240.76	251.65	151.98	17.54	▲ 62.26	11.17	92.65
BPS	円	1,904.22	2,008.00	2,146.83	2,236.24	2,144.91	2,153.99	2,410.51	2,674.13
ROE	%	9.23%	11.99%	11.72%	6.80%	0.82%	-	0.46%	3.47%
PER	倍	6.07	5.88	5.26	5.87	24.29	-	48.8	7.11
PBR	倍	0.56	0.70	0.62	0.40	0.20	0.35	0.22	0.24

- ・2020/3期以降はコロナ、半導体不足の影響で利益水準は低位
- ・利益水準、自動車セクター株式の買い控えにより株価は低水準で推移
- ・その結果、ROE、PERも低水準となりPBRは0.2倍台にとどまる
- ・一方でROEが11%台の時もPBRは0.6～0.7倍水準であり、株価は割安の水準

利益改善と株価向上策の両面からのアプローチが必須

15中計を遂行し「稼ぐ力を強化」し利益水準に合わせ「株価向上策」を展開していく



1

決算概要

Financial Summary

2

業績予想

Earnings Forecast

3

経営戦略

Management Strategy

4

トピックス

Topics

◆日経IR・投資家フェア2023へ出展

2023年9月1日（金）と9月2日（土）に東京ビッグサイトにて開催された日経IR・個人投資家フェア2023に出展。

ブース内にて会社説明会や製品展示、リーフレット配布。

- ・会社説明会：1日6回、計12回実施。参加者：計206名
- ・イベントを通じて、当社についてPRを展開。



◆フードドライブの実施



埼玉りそな銀行様とのタイアップでフードドライブを実施。

11月22日（水）、今年も当社にて合同贈呈式を開催予定

※写真は昨年の様子

◆クリーン活動



地域社会への貢献と、社員のCSRへの意識醸成を目的とし、日本各地、グローバル拠点で、毎年様々なクリーン活動を展開。

様々な活動を通じて、社会・地域との繋がりを大切に

得意先様からの表彰実績（2023年度上半期）

	グローバル	品質	◆ 2023年7月 NISSAN 「Nissan Global Supplier Award」「Global Quality Award」
日本	亀山	生産技術	◆ 2023年4月 文部科学大臣表彰 創意工夫功労者賞 「1000プレス機のR/L混入防止装置の改良」
北米	エフテック	総合	◆ 2023年3月 General Motors 「31st annual Supplier of the Year Award」
	F&P (カナダ)	品質、供給	◆ 2023年4月 ホンダ 「Service Parts Award」「Delivery & Quality Award」
	F&P (カナダ)	品質	◆ 2023年6月 General Motors 「Supplier Quality Excellence Award 2022」
	FPA (アメリカ)	品質	◆ 2023年6月 General Motors 「Supplier Quality Excellence Award 2022」
	FPMX (メキシコ)	品質	◆ 2023年6月 General Motors 「Supplier Quality Excellent Award 2022」
		改善	◆ 2023年5月 メキシコ グアナファト州 「改善活動への表彰」
アジア	FMTL (タイ)	品質	◆ 2023年9月 Department of Industrial Works, Ministry of Industry Thailand 「2023 CSR-DIW Award」
		品質	◆ 2023年7月 NISSAN 「Nissan Supplier Meeting Quality Finalist」
		パフォーマンス	◆ 2023年7月 ダイハツGlobal 「ダイハツGlobal貢献賞」
	ISS (インド)	品質	◆ 2023年6月 DENSO Haryana 「Overall Performance Award」
		パフォーマンス	◆ 2023年6月 DENSO JAPAN 「Excellent Performance Award」
		品質	◆ 2023年5月 Shiroki Automotive India 「ベストサプライヤーQCD賞」

ご清聴ありがとうございました

Thank you for your attention!



本資料で記述している将来予測及び業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づき当社が判断した予想であり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。

そのため、様々な要因の変化により実際の業績と記述としている将来見通しは、大きく異なる可能性があることを御承知おき下さい。

The future outlook and earnings forecasts in this document are made based on the information available at the moment, and they include potential risks and uncertainties.

As a result, please bear in mind that actual business performance may substantially differ from the stated future forecasts due to changes in various factors.

IR情報のお問い合わせ、取材申し込みは

For inquiries on IR information, please contact:

株式会社エフテック 管理本部 総務部/経理部

F-TECH INC. Management Planning Division General Affairs Department/Finance and Accounting Department

代表TEL

0480-85-5211

Mail

webmaster@ftech.co.jp

「エフテック」で検索

<https://www.ftech.co.jp>



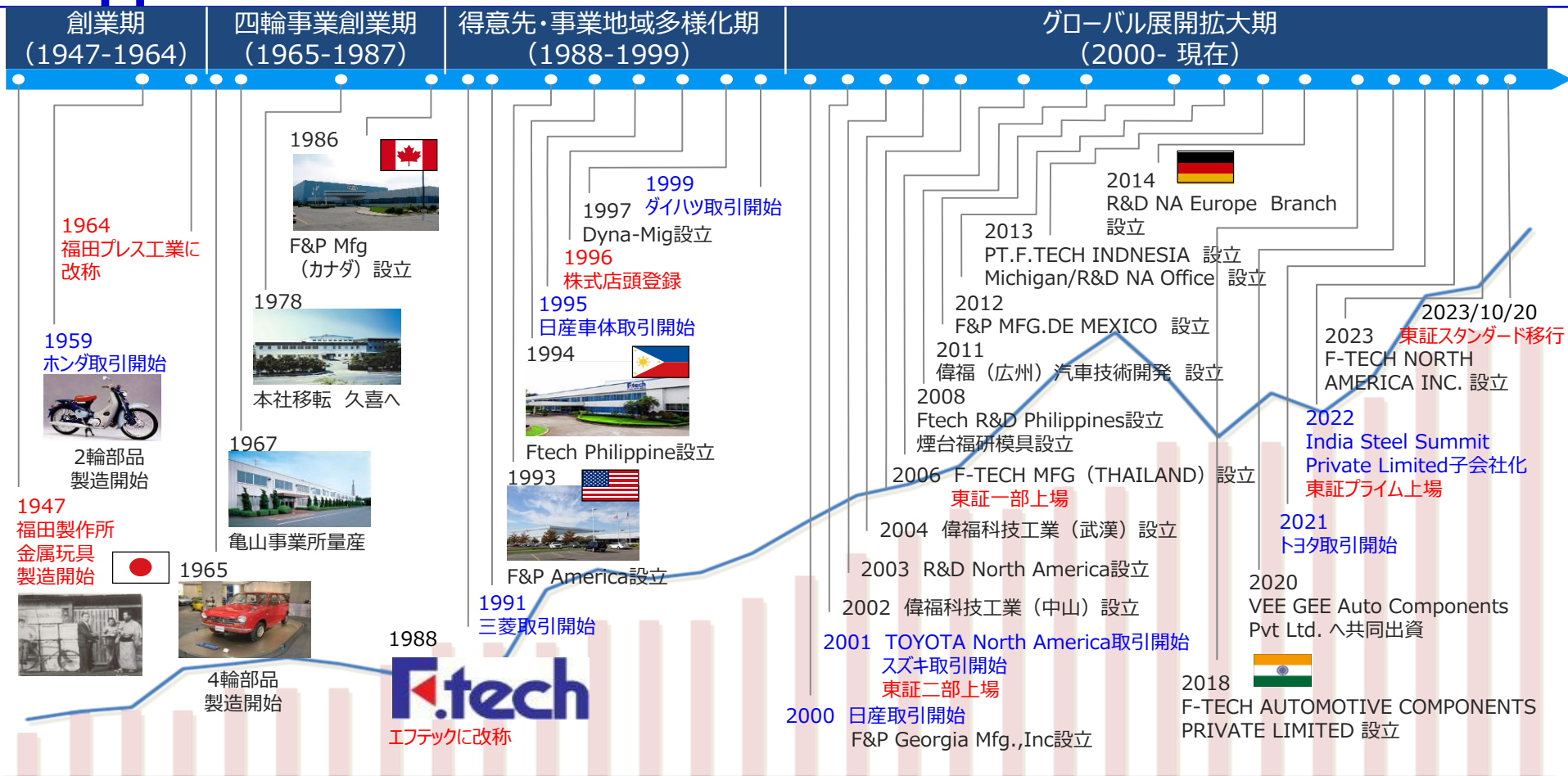
Appendix

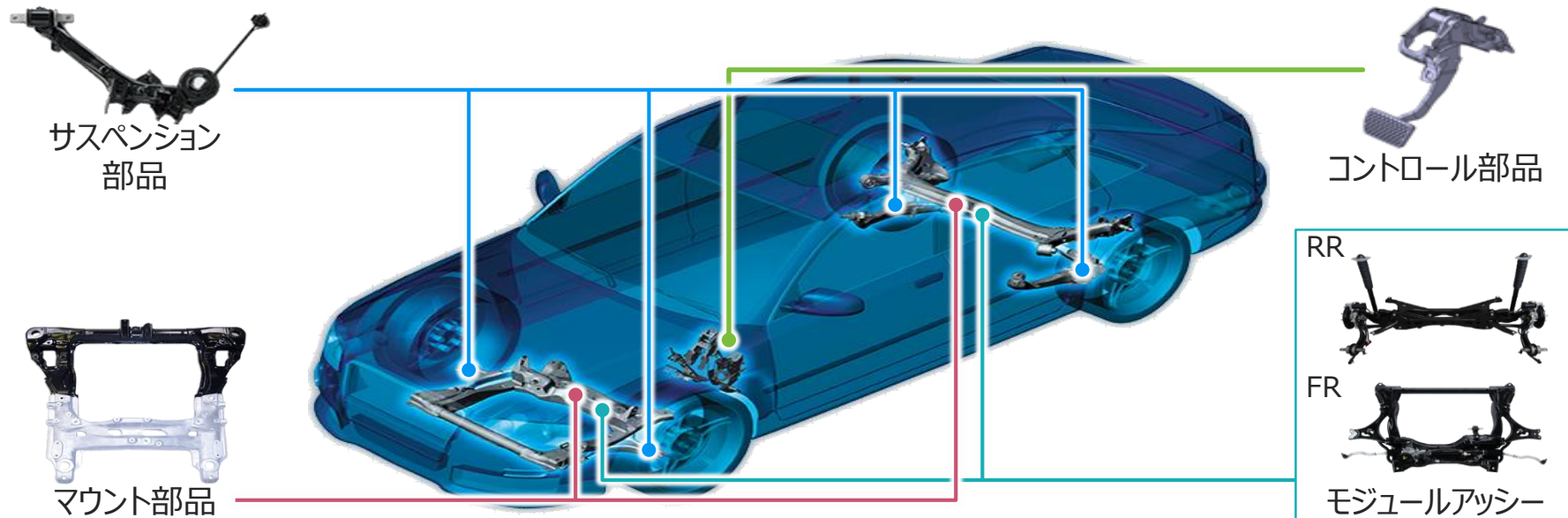
会社名	株式会社エフテック
市場区分	東証スタンダード（7212）
資本金	67.9億円
代表者名	代表取締役社長 福田祐一
売上高（連結）	2,611億円（2023年3月期）
従業員数（連結）	9,763人（単体：926人） ※単体：国内エフテックのみ（子会社、海外駐在員含まず）
設立年月日	1947年7月1日
本社所在地	〒346-0194 埼玉県久喜市菖蒲町昭和沼19番地
主要取引先	本田技研工業株式会社、ゼネラルモーターズ社、トヨタ自動車株式会社、日産自動車株式会社、etc.
主要製品	自動車向け足廻りサスペンションアーム、サブフレーム、アクスルビーム、ペダルコントロール等



2023年3月末現在

Appendix ～沿革～





当社の製品は、「走る」・「曲がる」・「止まる」の基本機能を司る、
重要保安部品であり、より高い操縦安定性や乗り心地、
衝突時の安全性を考慮した最適仕様を提案します

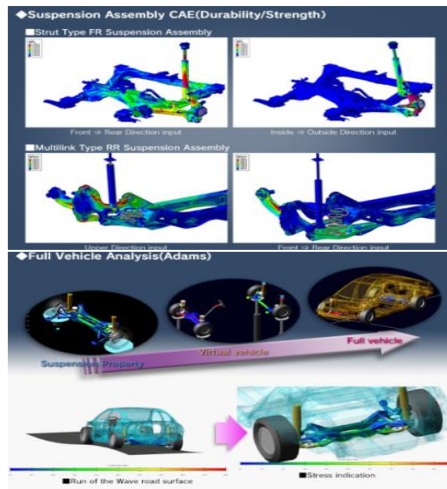
製品開発

塑性成形

接合

塗装

組立



製品の企画開発から量産まで、全工程を独自の一貫加工体制で対応、
圧倒的に競争力の高い製品をスピーディーに提供

●【国内事業所】

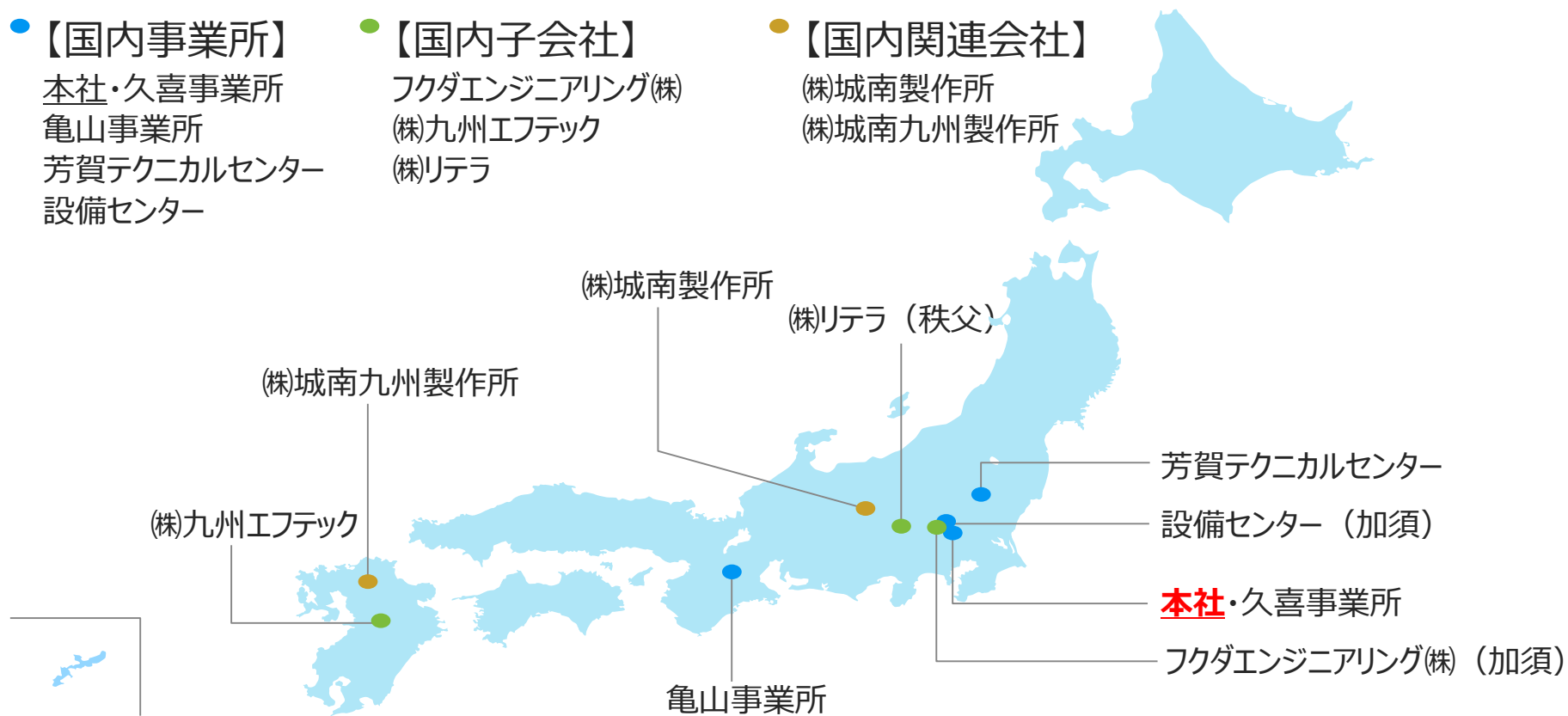
本社・久喜事業所
亀山事業所
芳賀テクニカルセンター
設備センター

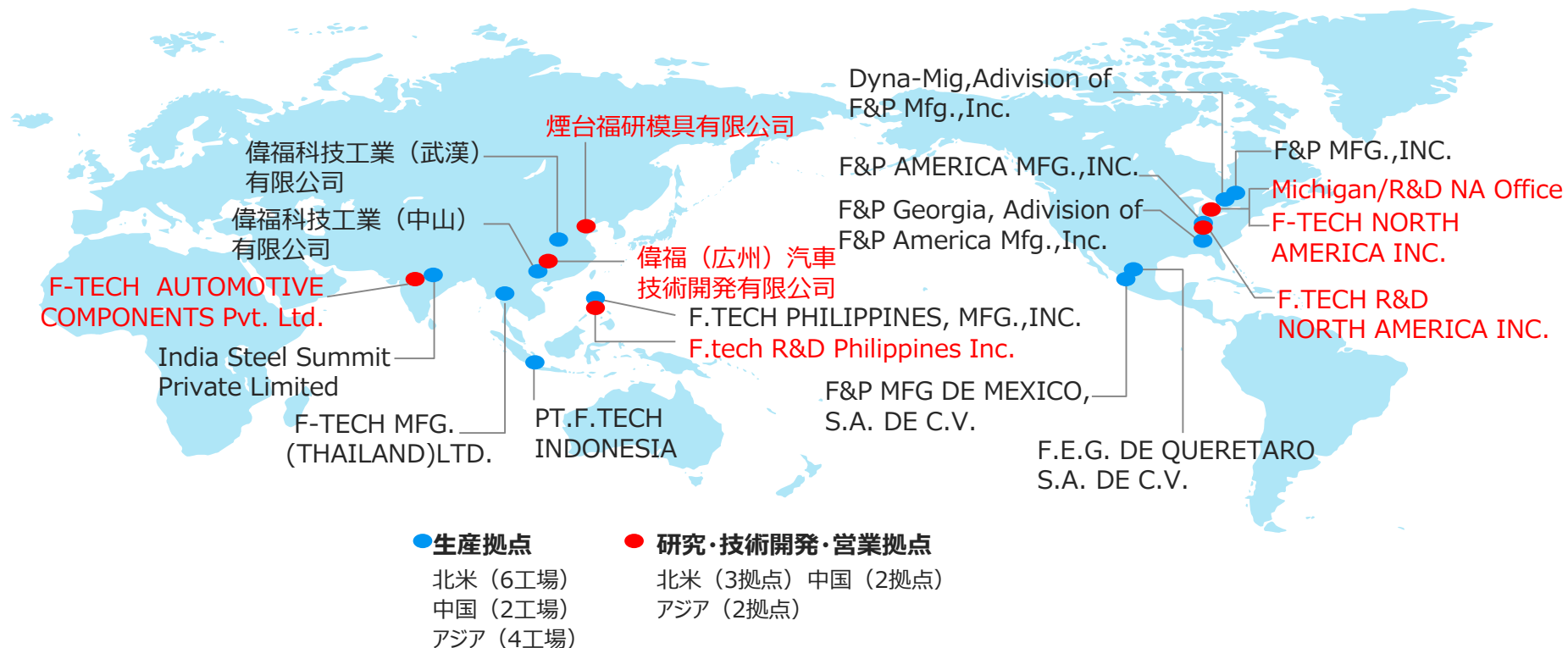
●【国内子会社】

フクダエンジニアリング(株)
(株)九州エフテック
(株)リテラ

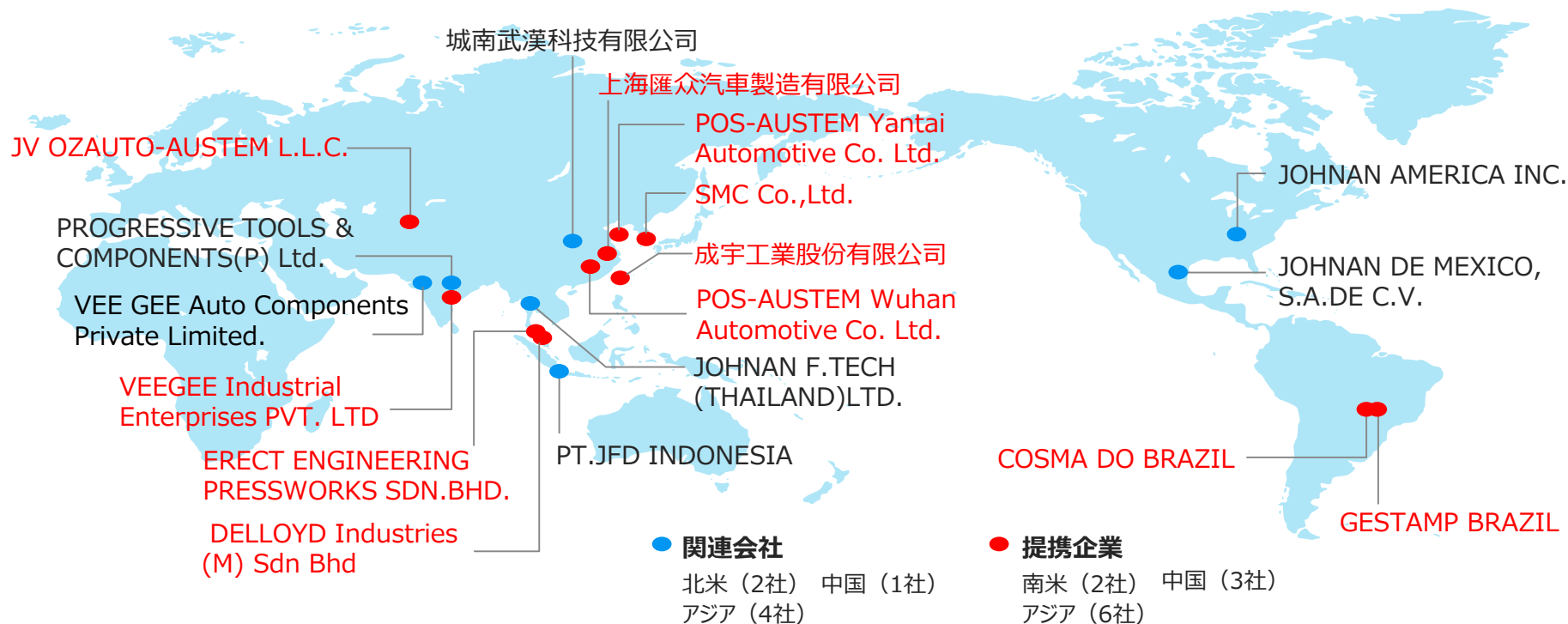
●【国内関連会社】

(株)城南製作所
(株)城南九州製作所





世界8カ国12生産拠点、7研究・技術開発・営業拠点を展開



世界6カ国・1地域での提携関係により、当社製品の世界供給体制を構築